

シム

順位四〇三 本地點ハ右岸ニ水路ヲ設ケ同發電所ノ放水口ノ下ヨリ取水シ草津川落合ノ上流ニ發電所ヲ設置ス

順位四〇四 本地點ハ水路ヲ左岸ニ取り草津川落合ノ下流ニ取入口ヲ設ケ字赤剝ノ對岸ニ發電所ヲ設ケントス

順位四〇五 本地點ハ字赤剝ヨリ取入レ道路ニ沿フテ開渠ヲ通シ字牛道ト字村上トノ中間ニ發電所ヲ設置ス

上流部ハ地質火山岩ニシテ稍堅質ナルモ下流三箇地點ハ地質大部第三紀層ニ屬スルノミナラス地勢緩ニシテ水路ハ開渠ト成スヲ得ヘキヲ以テ工事ハ容易ナルモ土砂ノ流入ヲ防クコト困難ナラン各地點トモ鐵道ヲ距ルコト僅ニ二里内外ニシテ道路亦平坦ナレハ器械材料ノ運搬ニ不便ヲ感セス工專用ノ石材等モ附近ニ豐富ナリ

第二十三章 最上川水系

第一節 概説

本水系ハ其ノ流域飽海郡ノ北部及西置賜郡ノ西部ヲ除ク山形縣ノ殆ト全部ニ跨リ面積五〇〇方里ニ近キ一大水

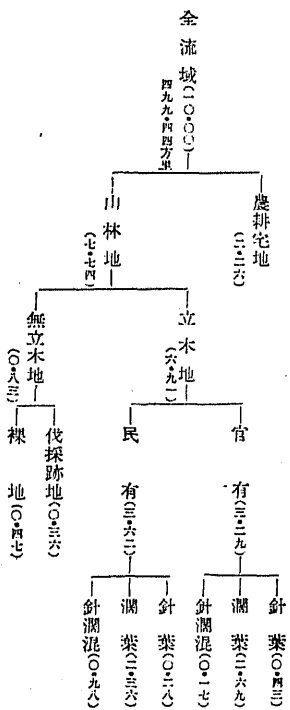
系ニシテ本流ノ上流部ヲ松川ト稱シ南方福島縣界ニ聳ユル吾妻群山ニ起リ蜿蜒曲折ヲ畫キツツ大體ニ於テ北方ニ向ツテ流下シ米澤平原ニ出テ米澤市ノ東端ヲ過キ州島附近ニテ同シク吾妻群山ヲ發シ米澤市ノ西方ヲ北流シ來ル鬼面川ヲ左岸ニ容レ長井町ノ附近ニテ飯豊山方面ヨリ北東流シ來ル白川及朝日山ヨリ西流スル野川ヲ何レモ左岸ニ合セ荒砥町ノ西側ヲ過キテ山峽ニ入り松程附近ニテ朝日川ヲ左岸ニ入レ左澤町ヨリ再ヒ平原ニ出テ右折シ寒河江町ノ南方ヨリ東方ニ迂廻シ同町ノ北東ニ於テ朝日岳ヲ出テ東流セル寒河江川ヲ左岸ニ合シ更ニ北流シ大石田附近ヨリ丘陵地ヲ橫斷シ漸次西方ニ迂廻シ本堀内ニテ宮城縣界ヨリ西流シ來ル小國川ヲ右岸ニ、藏岡ニテ秋田縣界ヨリ北流シ來ル鮭川ヲ同シク右岸ニ合ス。本流ハ本合海ヨリ進路ヲ西方ニ採リ清川ノ東端ニテ月山ヨリ來ル立谷澤川ヲ左岸ニ入レ庄内平原ニ出テ河口ニ近キ酒田町ノ南方ニ於テ新潟縣界ニ近キ大鳥池ニ發源スル赤川ヲ左岸ニ合流シテ日本海ニ注ク。以上列記ノ諸支流ハ水力地點ニ關係ヲ有スルモノノミニテ他ニ無數ノ小支流ヲ有スレトモ茲ニ之ヲ述ヘス。本流域ハ南北ニ長ク東西ニ短ク地勢一般ニ南方ヨリ北方ニ低下シ上流ニハ米澤盆地開ケ中流ニ

於テハ山形平原北方ニ延ヒ下流部ニハ新庄、庄内ノ二平原展開シ肥沃ナル耕地多キモ東境ニハ脊梁山脈連互シテ番成山、藏王山等ノ雄峯ヲ起シ南方阿賀野川水系トノ分水嶺ニハ同山脈ノ支脈タル吾妻山ノ諸高峯竝立シ西方ニハ越後山脈横ハリ朝日岳、月山等ノ高峯屹立シ又北方子吉川水系トノ分水嶺ニハ鳥海山ノ雄姿天ヲ摩シテ聳立セリ。

地質ハ平地ノ大部分ハ沖積層ニ屬シ壤土、壇土、粘土等ヨリ成レトモ東方宮城縣界及南方吾妻山附近竝西方月山附近ニハ火山岩露ハレ米澤盆地ノ周圍ニハ片麻岩及石英粗面岩露出シ朝日岳、本像岳ニ花崗岩發達セリ、是等ヲ除ケル殘部ハ殆ト凡テ第三紀層ニ屬ス

最上川流域林野狀態一覽表

括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ



森林狀態ハ最上川本流ヲ境トシテ東西其ノ趣ヲ異ニシ

雨量多ク且森林狀態極メテ良好ナル爲渴水量多ク流域一方里當一〇個ヲ下ルモノ少シト雖東方ノ諸川ハ降水量少キノミナラス森林狀態不良ナルタメ流量一般ニ少ク小國川ノ如キ森林狀態良好ナル河川ニ於テモ渴水量ハ流域一方里當一〇個ニ達セス。融雪期ハ各河川多少ノ遲速アレトモ一般ニ三月上旬ニ始マリ四月又ハ五月最高ニ達シ六月初旬ニ終ルヲ常トス。最高水位ハ主ニ融雪期四、五月ニ起レトモ往々秋季九月前後ニ生スルコトモアリ最低水位ハ多ク冬季二月ニ起リシモ河川ニ依リテハ夏季七、月前後ニ之ヲ見タルコトアリ以下各河川ニ就キ詳述スヘシ

第二節 最上川

一、流域

本川流域全般ノ地形ハ第一節ニ略述セシヲ以テ本項ニハ長井町ヨリ上流即チ松川ト稱スル部分ノ各支流ヲ含メル區域ノミニ就キ記述スヘシ。本流域ハ南北ニ長キ橢圓形ヲ呈シ南ヨリ北ニ向ツテ傾斜シ南方分水嶺ハ西吾妻山ヲ中心トシテ東大嶺、西大嶺等二、〇〇〇米ニ近キ高峯東西ニ連レトモ山頂ハ概ネ頗ル緩斜ナリ又山腹モ溪流ノ沿岸ヲ除ケハ緩斜地多ク特ニ山麓ハ裾野良ク發達セリ、西境白川トノ分水嶺ハ吾妻山系ノ支脈ニシテ丘陵狀ヲ

西側方面水源山地一帯ニ樹木繁茂シ森林狀態良好ナレトモ東側方面ハ多クハ山骨ヲ露出シ森林狀態不良ナリ。樹種ハ山毛櫸ヲ主トシ檜、杉、其ノ他數十種ノ闊葉樹及松、杉等ノ針葉樹ヲ混ス

本流域ノ氣温ハ大略一〇度ヨリ一三度ノ間ニアリテ東境藏王山附近最低ク酒田附近最高シ之ヲ東隣阿武隈川流域ニ比較セハ大體ニ於テ年平均氣温一度低ク北隣阿賀野川流域ニ比セハ殆ト伯仲ノ間ニアリ。又風向ハ一箇年ヲ通シ南東風最多ク十一月ヨリ翌年三月マテハ南西ニ變ス。降水量ハ山形平原部一、三〇〇耗内外ナレトモ其ノ他ハ二、〇〇〇耗内外ニシテ陸羽東西鐵道線沿岸及西部越後山脈附近ハ三、〇〇〇耗以上ニシテ月山附近ノ如キ三、六〇〇耗ニ達スル所アリ、降水量ノ最多キハ冬季一、二月ノ候ナレトモ九月ニ現ハルル所モアリ、最小月量ハ四月ヨリ六月ニ至ル間ニ於テ起リ最大日量ハ概ネ八月ニ起ルヲ常トス。蒸發量ハ流域一般ニ少ク年量四百二十耗ナレトモ山形地方稍多ク年量七二〇耗ニ達ス而シテ蒸發量ノ最多キハ七、月前後ニシテ最少キハ一、月前後トス。積雪ノ多少ハ降水量分布ト略同様ナリ

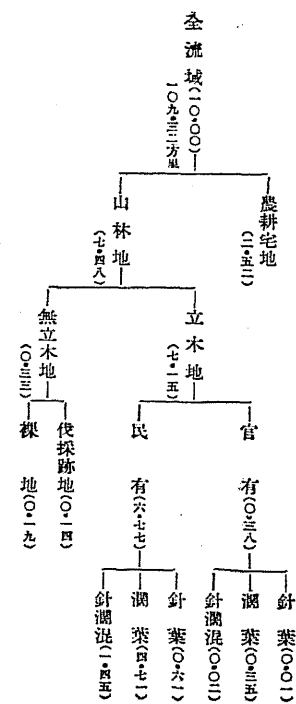
流量狀態ヲ一瞥スレハ西方ノ諸川ハ其ノ水源深クシテ

呈シ高峻ナラサレトモ東方脊梁山脈ノ西面ニハ急斜地多ク山骨ノ露出セルモノ尠カラズ、北方ニ横ハレル支脈ハ丘陵地ニシテ波狀ヲ呈シ米澤盆地ハ是等山岳及丘陵ヲ以テ圍繞セラレ廣莫タル平原ヲナシテ地味頗ル豐饒ナリ

地質ハ中央平原ハ第四紀沖積層ニ屬シ其ノ東南ニ石英粗面岩露出シ其ノ外圍ニハ古生層横ハリ吾妻山頂及高島町ノ南東ニハ火山岩露ハレ西部一帯及北方一小部ハ第三紀層ニ屬ス

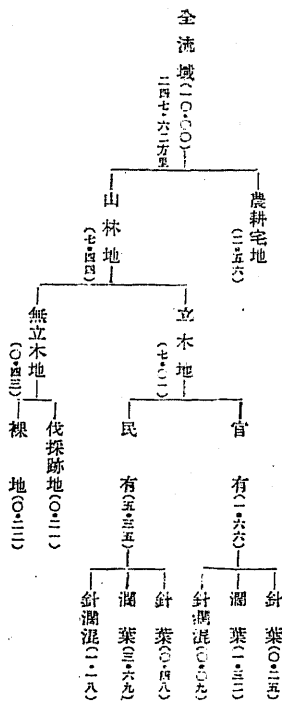
最上川流域林野狀態一覽表

括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ



最上川流域林野状態一覽表

(界ノ目測水所ヨリ上流部)



檜栗其ノ他赤松、杉、姫小松等ヲ主トシ二〇年未滿ノモノ大部ヲ占メ林相良好ナラス殊ニ東方分水嶺附近ニハ不毛ニ近キ荒廢地頗ル多シ然レトモ近年漸ク民有地ニモ銳意植林ヲ行ヒツツアレハ遠カラス林相ノ更新ヲ見ルニ至ラン
降水量ハ東部ハ甚タ少ク高阜ニテ年量八〇四耗ヲ示スニ止マレトモ西部ハ稍多ク神原ニテ一、六〇五耗ヲ示シ氣温ハ年平均攝氏一〇度内外ナリ

二、河川狀況 水源地帯ノ山間部ハ河床深ク穿タレ河岸ノ懸崖ヲナセル箇所少カラス河床ニハ大小ノ玉石累積シ奔流ヲ碎クモ一度平原ニ出ツレハ一變シテ兩岸低ク砂礫河床ニ堆積シ洪水ノ際ハ河水氾濫シテ沿岸ヲ洗掘シ河幅廣ク亂流ヲナセリ。長井町ヨリ荒砥町ノ下流迄ハ同様ノ

状態ヲ續クレトモ同所ヨリ以下峽谿ニ入り河幅狹ク水深深ク河床ハ砂礫ヨリ成リ第三紀層ノ軟岩ハ削鑿セラレテ兩岸ニ直立シ沿岸ハ狹長ナル臺地ヲ形成セリ。左澤町ヨリハ再ヒ第四紀層ノ山形平野ヲ貫流スルヲ以テ兩岸高カラス亂流ノ傾向ヲ有シ分流セル箇所多キモ護岸工事ヲ施シ河岸ノ崩壞ヲ防止セリ。西郷村河島ニテ再ヒ第三紀層ニ入り清川ニテ山峽ヲ離ル此ノ間大石田ヨリ古口ニ至ル兩岸ニ稍廣キ耕地拓ケタル外殆ト波狀丘陵地ニシテ河幅狹窄シ兩岸高ク水深クシテ小部分ヲ除クノ外亂流セス清川以西ハ所謂庄内平野ニシテ河川ハ洋々トシテ其ノ間ヲ流レ河床ハ全ク砂礫ヨリ成ル。上流部ハ流勢頗ル強ク奔湍甚タ多キモ流下スルニ從ツテ勾配緩トナリ著シキ急湍ノ連續ヲ見ス平均勾配ハ上流部一八〇分ノ一、中流部五〇〇分ノ一、下流部一三〇〇分ノ一ニシテ水力利用ノ望アルハ長井町ヨリ下流左澤町ニ至ル峽谿部ナリ
流量ノ變化ハ上流東五百川村大字上郷測水所ニ於ケル調査ニ依レハ流域面積一方里當平均濁水量ハ四個ニシテ其ノ少キコト裏日本ニ於テハ稀ニ見ル所ニシテ其ノ最大流量ト濁水量トノ比ハ約八〇内外ナリ變化大ナリト云フヘシ

中流部大高根村大字富並字界ノ目ニ設ケタル測水所ニ於ケル實測ノ結果ヲ見ルニ濁水量ハ上流ニ比シ稍多量ニシテ流域一方里當五三個ヲ示ス之レ白川、野川、朝日川、寒河

江川等ノ流出量大ナル支流ノ流入ニ因ルモノニシテ高水量ト濁水量トノ比ハ上流上郷測水所ニ於ケルヨリモ小ナルモ亦流出量ノ増減少キ前記諸川ノ流入ニヨルナラン

最上川流量表

平均ニハ大正十一年ヲ含マス 大正八年ハ次年ノ資料ヲ充當シテ査定セルモノトス

順位	舊順位	河川	測水所	面積	流				流域一方里當流量				
					年次	最大	平水	低水	最大	平水	低水	濁水	
1011	1	最上川	山形縣 西村山郡東五百川村 上郷測水所	10,931	大正八年 1,780,000 大正九年 3,290,000 大正十年 4,800,000 大正十一年 1,010,000 平均 2,225	1,780,000 1,800,000 1,400,000 1,180,000 1,225	970,000 1,140,000 1,670,000 550,000 1,225	227,000 560,000 437,000 339,000 443	182 101 437 437 184	166 187 276 266 220	89 115 153 50 84	20 51 50 31 40	17 38 40 30 1
1014	1	同	山形縣北村山郡大高根村 富並字界ノ目	2,476	大正八年 1,910,000 大正九年 3,950,000 大正十年 5,000,000 大正十一年 5,000,000 平均 3,715	1,910,000 3,950,000 5,000,000 5,000,000 3,715	1,900,000 3,700,000 5,700,000 1,800,000 3,715	660,000 1,160,000 1,800,000 1,200,000 3,715	218 440 848 808 1,711	225 160 233 159 1,076	77 200 234 103 107	33 51 74 57 53	27 34 57 33 1

三、水利及治水

治水工事ハ内務省ニ於テ河口附近及荒砥町附近ノ改修ヲ行ヒツツアルモ選定地點ニ關係ナシ灌漑用水路一アリ三郷堰用水ト稱シ左澤町三郷ニ於テ春夏ノ候七〇個ノ水ヲ引用シ長崎町外三箇村ノ田地ヲ灌漑スルモノナリ。流水少シク行ハル

舟航ハ長崎町ヨリ下流ニノミ行ハレ水力地點ニ關係ナク流筏ハ荒砥町ヨリ下流ニ通スルモ其ノ數少シ漁業ハ中流、下流各所ニ行ハレ築又ハ網等ニテ漁獲ス。水力事業トシテハ最上川電力株式會社ノ既設發電所一アリ

四、水力地點

最上川水力地點表 落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地號點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水長路	面積域	能發電	年平均馬力數	等級
四〇六	最上川	番外 一五	山形縣西置賜郡長井村 宮 舟揚	同 郡 東根村 戸 根	湯水 三四三 低水 一、〇一〇 平水 一、八〇〇	* 四七	一、七八九 五、二六九 九、三九一	四〇〇	八五七八	一〇〇〇 九一 七九二	一七八九 四八五三 七四三八	甲
四〇七	同	一	山形縣西置賜郡鮎貝村 高岡 御陣屋向	西村山郡 西五百川村 松 程 沼 平	湯水 四二四 低水 一、二五〇 平水 二、二三〇	五八	二、七三〇 八、〇四八 一四、三五七	六、〇〇〇	一〇、〇〇一	一〇〇〇 九一 七九二	二、七三〇 七四二 一一、七七一	乙
四〇八	同	二	山形縣 西村山郡東五百川村 上 海 祭 田	同 郡 東五百川村 雪 谷	湯水 四三七 低水 一、二九〇 平水 二、三〇〇	四八	二、三二八 六、八七三 一二、二五四	一、八〇〇	一〇、九三一	一〇〇〇 九一 七九二	二、三二八 六、三三〇 九、七〇五	甲
四〇九	同	三	山形縣 西村山郡東五百川村 宮 宿 助 卷	同 郡 東五百川村 合 大 兩	湯水 四七一 低水 一、三九〇 平水 二、四七〇	* 三五	一、八三〇 五、四〇〇 九、五九六	二、七〇〇	一一、七三四	一〇〇〇 九一 七九二	一、八三〇 四九三 七、〇〇〇	乙

水力地點ノ説明

順位四〇六 本地點ハ長井橋際ニ取入口ヲ設ケ右岸山麓ニ沿ヒ開渠ニテ廣野部落ノ南方ニ導キ放水シ約五町ノ放水路ヲ以テ本流ニ入ラシム

順位四〇七 本地點ハ實淵川落合ノ上流ヨリ水ヲ左岸ニ取入レ隧道及開渠ニテ字沼平ニ導キ放水ス

順位四〇八 本地點ハ上郷ニテ右岸ニ取水シ隧道及開渠ヲ以テ導水シ字雪谷ニ發電所ヲ設ケ

順位四〇九 本地點ハ五百川橋右岸ニ取入レ全部開渠ヲ以テ導水シ明鏡橋際ニ至リテ發電ス

以上列記ノ水力地點附近ノ地質ハ第三紀層ニ屬スル土壤又ハ軟岩ナルヲ以テ工事頗ル容易ナルノミナラス附近

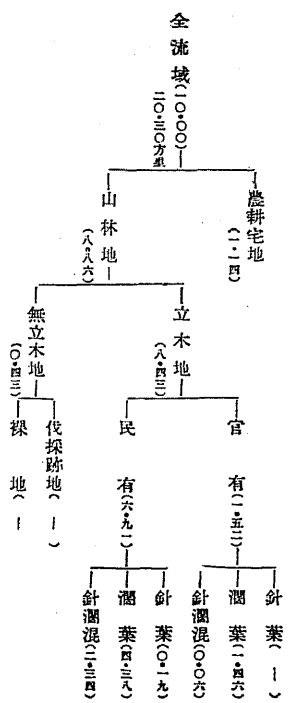
ニ縣道通シ鐵道ノ便アルニ依リ器械其ノ他材料ノ運搬ハ頗ル便ナリ

シ同所以北ハ沖積層ヨリ成ル

第三節 白川、廣河原川

一、流域 白川ハ山形、福島、新潟ノ三縣ニ跨ル飯豊山ニ其ノ源ヲ發シ數多ノ溪流ヲ集メテ東流スルコト二里餘ニシテ右岸ニ葡萄澤川ヲ容レ進路ヲ北東ニ轉シ左岸ニ大澤川ヲ合セ川内戸ニテ右折シ數馬ニテ廣河原川ヲ右岸ニ合流ス。廣河原川ハ赤崩山ニ發シ北流シ須郷ニ達スル邊ニテ小屋川ヲ右岸ニ合セ更ニ流下スルコト十町餘ニシテ白川ニ入ル。白川本流ハ之ヨリ更ニ北東ニ向ヒ大小幾多ノ屈曲ヲ畫キツツ山峽ヲ流下シ手ノ子附近ヨリ兩岸漸ク開ケ松原ニテ山間ヲ脱シテ平原ニ入り長井町ノ上流ニ於テ最上川ニ注ク此ノ流程一三里餘、流域ハ南置賜郡中津川村ノ全部、西置賜郡豐川、豐田、添川各村ノ全部及豐原村ノ過半部ヲ包含シ其ノ面積二〇方里餘アリ流域ノ形狀ハ西南ヨリ東北ニ延ヒ其ノ幅員狹ク地勢モ亦同方向ニ低下シ山勢概シテ急峻ナラス松原以北ハ平原トナリ廣大ナル水田拓ク地質ハ本流ノ水源飯豊山ニ花崗岩、支流廣河原川ノ水源赤崩山ニ火山岩ヲ露出スルノ外松原以南ハ第三紀層ニ屬

白川流域林野狀態一覽表 括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ (松川合流部ヨリ上流部)



本流域ノ林野狀態ハ右表ノ如ク國有林ハ全流域ノ一割五分ニ過キス上流種蔭山ヨリ東北ニ擴カレル一林地ト梅峯附近ニアル狹長ナル林地ヲ主トスレトモ概シテ林相粗惡ナリ然レトモ近來水源涵養ノタメ保安林トナシ或ハ伐採ヲ制限スル等漸次林相ノ恢復ヲ期シツツアリ。村有林民有林モ亦伐採跡地多ク林相不良ナリ。樹種ノ主ナルモノハ山毛櫸、檜、栗、イタヤ等ノ闊葉樹及赤松、杉、姫子松等ノ針葉樹ニシテ山毛櫸最多シ

本流域内降雨量ハ稍多ク中津川ニテ三箇年平均年量二、二五五耗ニ達シ積雪モ亦甚タ深シ

二、河川狀況 松原ヨリ上流ノ山間部ニ於ケル河岸ハ大

部分懸崖絶壁ヲナシ河床ハ概ネ玉石及砂礫ヲ以テ覆ハル
 レトモ岩盤ノ露出尠カラス松原ヨリ下流ノ兩岸及河床ハ
 砂礫ヨリ成ル水勢一般ニ急ニシテ須郷ヨリ上流ハ殊ニ甚
 タシ。水力利用ニ有望ナル區間ハ中津川村字嶽谷ヨリ豊
 川村字高峯迄ニシテ落差六〇〇尺ヲ算シ字矢淵ヨリ上流
 ノ水面勾配ハ平均一〇〇分ノ一ナリ同所ノ下流ハ一里一
 〇餘町ニテ一〇〇尺餘ノ落差ヲ有スレトモ既ニ利用セラ
 レタリ。本川ニハ測水所ナキヲ以テ正確ナル流量ノ變化

白川水力地點表

水量、落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地 號點	取 入 口	放 水 口	水 量	落 差	馬 力 數	亘 水 長 路	面 積 積 域	能 發 率 電	年 平 均 馬 力 數	等 級
四一〇	白 川	番外八	山形縣南置賜郡中津川村 岩倉社初	同郡中津川村 川内戸原	湯水 * 三〇 低水 * 六六 平水 * 一一四	* 二四〇	一、七五八 三、〇三七	三、六〇〇	三、三二	八九八 九、六六 一、〇〇〇	一、六八 七、九九	甲
四一一	同	番外九	山形縣南置賜郡中津川村 川内戸原ノ畑	上同郡中津川村 原高土	湯水 * 四三 低水 * 九五 平水 * 一六三	* 八七	九一七 一、五七四	二、三八〇	四、四八	八九八 九、六六 一、〇〇〇	一、四三 八、四九	甲
四一二	同	番外一〇	山形縣南置賜郡中津川村 上原高土	同郡中津川村 馬臺ノ下	湯水 * 六三 低水 * 一三八 平水 * 二二七	* 六五	四五五 九九六 一、七二〇	一、〇〇〇	六、五〇	八九八 九、六六 一、〇〇〇	四、五五 九、三三	甲

四一三	同	番外一一	山形縣南置賜郡中津川村 須郷下川原	同郡中津川村 坂下ノ向	湯水 * 一七 低水 * 二五七 平水 * 四三九	* 七〇	九〇九 一、九九七 三、四一一	一、〇〇〇	二、〇二	八九八 九、六六 一、〇〇〇	一、八四九 三、〇六三	甲
-----	---	------	----------------------	----------------	---------------------------------	------	-----------------------	-------	------	----------------------	----------------	---

廣河原川水力地點表 水量、落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地 號點	取 入 口	放 水 口	水 量	落 差	馬 力 數	亘 水 長 路	面 積 積 域	能 發 率 電	年 平 均 馬 力 數	等 級
四一四	廣河原川	番外(イ)	山形縣南置賜郡中津川村 廣河原天戸屋	上同郡中津川村 原日蔭	湯水 * 三三 低水 * 七二 平水 * 一一二	* 一六八	六一五 一、三四三 二、二七五	二、七〇〇	三、三六	八九八 九、六六 一、〇〇〇	一、四四 二、〇四三	甲
四一五	同 (四一四ノ比較線)	番外(ロ)	山形縣南置賜郡中津川村 廣河原天戸屋	須同郡中津川村 郷	湯水 * 三三 低水 * 七二 平水 * 一一二	* 二〇二	七四〇 一、六一四 二、七三五	二、六四〇	三、三六	八九八 九、六六 一、〇〇〇	一、四九 二、四五六	甲
四一六	小屋川	番外一三	山形縣南置賜郡中津川村 小屋湯坂	上同郡中津川村 原日蔭	湯水 * 一〇 低水 * 二三 平水 * 三九	* 一七三	一九二 四四二 七四九	一、六八〇	一、〇八	八九八 九、六六 一、〇〇〇	一、九二 四、〇九	甲

水力地點ノ説明

順位四一〇 本地點ハ字社初ニ取入口ヲ設ケ隧道及開
 渠ニテ大字川内戸ニ導キ發電ス

順位四一一 本地點ハ前地點ノ放水口對岸ヨリ直ニ取
 入レ上原ニ發電所ヲ設置ス水路ハ開渠トシ左岸ニ設ケ

順位四一二 本地點ハ前記發電所下流ニ接シテ取入口

ヲ設ケ廣河原川落合ニ發電所ヲ設置ス水路ハ大部分ハ開
 渠ニシテ隧道ハ一八〇間ニ過キス

順位四一三 本地點ハ廣河原川落合ヨリ取水シ隧道ニ
 テ之ヲ既設發電所ノ取入口上流ニ導キ發電ス

順位四一四 本地點ハ支流廣河原川ノ流水ヲ引用スルモノニシテ字廣河原ニテ右岸ヨリ取入レ袖ノ澤對岸ニテ發電ス水路ハ大部分ヲ開渠トナシ隧道ハ五〇〇間ニ過キス

順位四一五 本地點ハ前地點ノ比較線ニシテ大字廣河原ニテ左岸ニ取入レ大字須郷ニ發電所ヲ設ク水路全長ハ前者ト等シキモ隧道約三〇〇間長シ

順位四一六 本地點ハ小屋川ノ流水ヲ字湯坂上流左岸ヨリ取入レ順位四一四地點ノ水路ニ導キ發電所ヲ共用ス、水路ノ約三分ノ一ヲ隧道トシ他ハ全部開渠トス

是等地點ノ附近ニハ一條ノ小徑通スルモ坂路頗ル多ク交通不便ナリ、然レトモ地盤軟岩ナルヲ以テ工事比較的困難ナラサルヘク且石材及砂利等ノ工用材料ハ附近ニ於テ容易ニ得ラルヘシ

第四節 小樽川

一、流域 本川ハ源ヲ福島縣界ナル大峠ニ發シ北流シテ鹽地平ヲ過キ戸長里附近ニテ右折シ東北流シテ館山ニ達シテ大樽川ニ合ス、此ノ流程六里一シテ流域ハ三澤村ノ全

部ヲ占メ面積二方里餘ナリ。地勢ハ大體南ヨリ北ニ向ツテ傾斜シ一般ニ標高高キモ山貌峻峻ナラス特ニ下流部ハ高臺地ヲ形成シ傾斜頗ル緩ニシテ戸長里附近ヨリ下流ノ沿岸ニハ狹長ナル平地ヲ存シ耕地拓ク。地質ハ全部第三紀層ニ屬ス

本流域内農耕宅地ハ甚タ僅少ニシテ殆ト悉ク山林地ナレトモ民有林其ノ九割餘ヲ占メ國有林ハ水源ニ少シク存スルノミ然レトモ上流部ニハ山形縣ノ模範林其ノ他共有林杉カラス、樹種ハ山毛櫸、檜等ノ潤葉樹ヲ主トシ杉、赤松、姫小松等ノ針葉樹ヲ混シ樹齡二〇年以上ニ達スルモノ其ノ八割ヲ超エ林相稍良好ナリ

二、河川狀況 河岸ハ稀ニ斷崖ヲ見レトモ大部ハ狹長ノ平地ニシテ地質ハ多ク砂質壤土ヨリ成レトモ軟質岩ヲ混エ兩岸低ク河床ハ玉石及砂礫ヲ以テ覆ハル。水流ノ緩急區々ナレトモ比較的勻配急ニシテ水力利用ニ適スルハ大荒澤合流點ヨリ下流大樽川落合ニ至ル三里餘ノ間ニシテ總落差五〇〇尺ヲ算スレトモ上在家以下ハ既ニ利用セラレタリ

三、水利及治水 本川ニハ舟筏流木、漁業等行ハレス治水、水車、上下水道等ノ關係ナキモ灌溉用水路ニアリ其ノ一ハ

神原堰トイヒ春夏ノ候水量八個ヲ引用シテ三五町歩ヲ灌漑シ他ハ口田澤堰ニシテ字高岩ニテ水量七個ヲ引用シ高岩區内二八町歩ヲ灌漑ス

水力事業トシテハ福島電燈株式會社ノ既設發電所一ア

小樽川 水力地點表 水量、落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	水路長	流域面積	發電率	年平均馬力數	等級
四一七	小樽川	番外一四	山形縣南陽郡三澤村入田澤水澤村	同郡三澤村入田澤水澤原	湯水 * 三一 低水 * 六七 平水 * 一一五	* 二二〇	七五七 一、六三六 二、八〇八	二二〇	三、一六	一〇〇〇 九二六 八九八	七五七 一五二五 二五二	甲

水力地點ノ説明

順位四一七 本地點ハ大荒澤落合ノ下流ヨリ取入レ右岸ニ沿フテ水路ヲ掘鑿シ戸長里ノ對岸ニ發電所ヲ建設セントス水路ハ全長一里ニシテ少許ノ隧道ト大部ノ開渠トヨリ成ル

第五節 野川

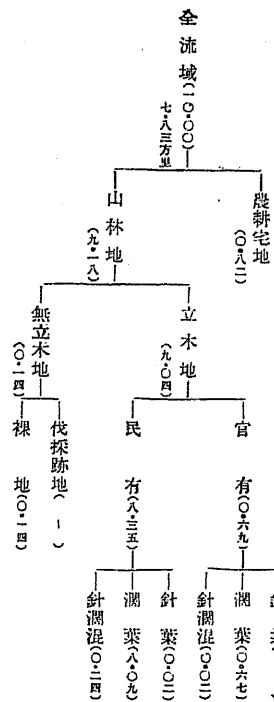
一、流域 本川ハ最上川ノ稍上流部ニ屬スル支流ニシテ源ヲ西方新瀉縣界ニ聳ユル朝日群山ノ南面ニ發シ諸溪流ヲ合セ字木地山ニ至リ中澤及大桶澤ノ二支流ヲ容レ漸次左折シテ布谷澤、桂澤等ヲ合セ左方ニ大圓弧ヲ畫キテ東流

シ長井町ノ北方ニテ最上川本流ニ注ク。流域ハ山形縣ノ西南部ニ位セル西置賜郡中ノ西根村平野村ノ全部及長井町ノ一部ヲ占メ其ノ面積七方里餘アリ。地勢ハ北ヨリ南ニ傾斜シ字東川ノ東方ニ平地ヲ開ク山態急峻ニシテ木地山及桂谷ニ僅少ノ平地ヲ有スルノミ。地質ハ山間部ハ全ク花崗岩ニ屬シ其ノ山麓ニハ狹長ナル第三紀層横ハリ平原部ハ第四紀層ヨリ成ル

山林ハ全流域ノ九割ヲ占ムレトモ水源地帯ヲ除ケハ密林稀ニシテ字木地山附近ヨリ下流一帶ハ著シク荒廢シ稚樹若クハ雜草ヲ以テ覆ハレ國有林ハ西方分水嶺ノ祝瓶山附近及會津澤ノ二箇所ニ小面積ヲ存スルノミ他ハ全部民

野川流域林野状態一覽表

(最上川ノ合流點ヨリ上流部)



有林ニシテ共ニ樹齡四、五十年以下ニアリ山毛櫸、檜、イタヤ等ノ潤葉樹多ク松杉等ノ針葉樹ハ少シ。植林ハ微々トシテ振ハサレトモ漸次勵行セラレツアルヲ以テ林相更新ノ期遠カラサルヘシ

二、河川狀況 木地山ヨリ上流ニ於ケル河岸河床ハ岩盤砂礫相半スレトモ同地ヨリ下流ノ山間部ハ山勢蹙リ深谿ヲ形成シ兩岸ニハ絶壁屏立シ其ノ高サ七八十尺ニ達スル所多ク河床ハ主ニ玉石及砂礫ニテ覆ハルレトモ岩盤ノ露出モ亦尠カラス此ノ區間ノ地質ハ花崗岩ナリ下流ハ沿川平原ヲナシ河岸ハ砂礫ヨリ成ルヲ以テ決潰シ易ク河幅廣ク亂流甚シク河身絶ヘス變化ス。山間部ニ於ケル河川勾

配ハ頗ル急ニシテ木地山ヨリ下流東川ニ至ル約二里間ニ於ケル落差五〇〇尺ヲ算ス。本川ニハ測水所ノ設ナキモ元臨時發電水力調査局ニ於テ調査セシ結果ト今回調査セシ附近ノ河川ヨリ推定セハ水量豊富ニシテ流量ノ變化甚シカラサルカ如シ

三、水利及治水 下流部ヲ灌漑スル用水路ニアレトモ水力利用區間ニハ關係ヲ有セス、流木行ハルレトモ其ノ數多カラス、其ノ他治水、上下水道、漁業等ノ關係ナシ

四、水力地點

水力地點ノ説明

順位四一八 本地點ハ大桶澤落合右岸ニ取入レ里道ニ並行シテ合地澤ニ導キ同澤左岸ニ沿フテ下リ桂澤河岸ニ發電所ヲ建設ス水路ハ開渠隧道相半ス

順位四一九 桂澤落合下流ノ峽谿ニ高サ約八〇尺ノ堰堤ヲ築キ左岸ニ引水シ全部隧道ヲ以テ許可地點取入口ノ上流ニ發電所ヲ設ク。地點附近ニハ一條ノ徑路アレトモ坂路急峻ニシテ辛ク人馬ヲ通スルニ過キス、水力利用ニ當リテハ道路ノ開鑿ヲ先ニセサルヘカラス

野川水力地點表

水量ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	延長路	面積	發電率	年平均馬力數	等級
四一八	野川	二八	山形縣西置賜郡西根村寺泉、木地山	同郡西根村寺泉、桂根谷	湯水 * 三九 低水 * 八六 平水 * 一四六	二五五	一、一〇四 二、四三四 四、一三三	二二八〇	四〇二	一〇〇〇 九六六 八九八	一一〇四 二二五四 三七二一	甲
四一九	同	二九	山形縣西置賜郡西根村寺泉、日倉	同郡西根村寺泉、瀨見	湯水 * 五九 低水 * 一二九 平水 * 二二〇	一八七	一、二二五 二、六七八 四、五六七	一三〇〇	六〇五	一〇〇〇 九二六 八九八	一一三五 二四八〇 四一〇一	甲

第六節 朝日川

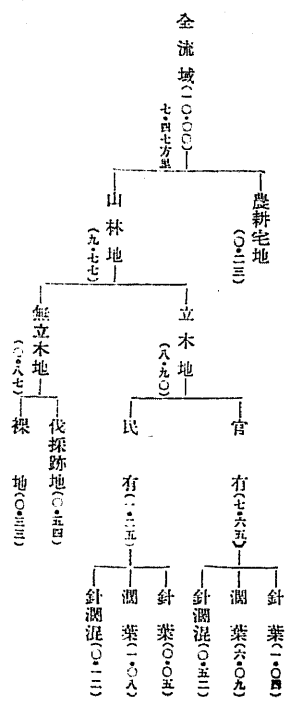
一、流域 本川ハ西村山郡ノ西南隅ニ位シ西方朝日嶽ニ其ノ源ヲ發シ東流シテ朝日嶽溫泉ノ下流ニテ南方葉山ヨリ來ル「ヌルマタ」澤ヲ合セ方向ヲ北北東ニ轉シ漸次右折シ暖日山ノ北麓ヲ迂廻シテ東流シ松程附近ニテ最上川ニ注ク流路六里ナリ、流域ハ東西ニ長ク西五百川村ノ全部ヲ占メ面積七方里餘アリ地勢ハ大體東方ニ向ツテ低下スルモ一般ニ流域内山嶽重疊シ峻嶺河岸ニ蹙リ山勢ノ傾斜甚タ急ニシテ諸所ニ基岩ヲ露出セリ

地質ハ白倉以東ハ第三紀層ニ屬シ其ノ以西ハ花崗岩ナ

レトモ急傾斜ノ地ニハ雲母岩露ハレ緩傾斜ノ地ハ砂礫又ハ土壤ヲ以テ基岩ヲ覆ヘリ

朝日川流域林野状態一覽表

(最上川合流點ヨリ上流部)



本流域内ニハ農耕地甚タ少ク殆ト全部山林地ニシテ國有林其ノ大部分ヲ占メ朝日嶽ノ東南側ヨリ東方ニ開展シ諸高峯ノ山頂岩石地ヲ除ク外ハ全山殆ト鬱蒼タル雜木

林ヲ以テ覆ハル。民有林モ亦無立木地少ク植林專業漸次發達ノ傾向アリ大體ニ於テ林相頗ル良好ナリ

之ヲ詳ニセサレトモ大體ニ於テ次節寒河江川ト同様ナリ

二、河川狀況 河川ハ概シテ屈曲ニ乏シク兩岸蹙リ山勢急ナリ河床ハ玉石及砂礫ニテ覆ハルレトモ岩盤ノ露出亦尠カラス。河流一般ニ急ニシテ水面勾配ハ平均八〇分ノ一ヲ算スレトモ殊ニ大字白倉ヨリ下流最上川落合ニ至ル約二里ノ間ハ落差七〇〇尺ニ達シ水力利用ニ適ス。本川ハ單ニ湧水量ノミヲ測定シタルニ止マリ各水位ノ流量ハ

三、水利及治水 治水、流木、漁業等ノ關係ナキモ灌漑用水路一アリ水口堰用水ト稱シ春夏ノ候五〇個ノ水ヲ西五百川村字新崩ニ於テ取入レ大字常盤區内ヲ灌漑ス
本川ニハ既設發電所一アリ山形電氣株式會社ノ企畫ニカカルモノトス
四、水力地點 利用範圍ハ前記白倉ヨリ下流ノ部分トス

朝日川水力地點表

順位	河川	番地號點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	互水長路	流域面積	能發電率	年平均馬力數	等級
四二〇	朝日川	一五	山形縣 西村山郡西五百川村 立木百光	同 郡西五百川村 白倉取	湧水 三五 低水 七七 平水 一三三	二八九	一、二二三	二、五七〇	三、六三三	一〇〇〇	一一三三	甲
四二一	同	一六	山形縣 西村山郡西五百川村 白倉取	同 郡西五百川村 白倉取	湧水 五四 低水 一九 平水 二〇三	一八二	一、〇九一	一、七〇〇	五、五七	一〇〇〇	一一三三	甲
四二二	同	四	山形縣 西村山郡西五百川村 立木用澤	同 郡西五百川村 須向	湧水 六三 低水 一三七 平水 二三五	一四三	一、〇〇〇	二、一〇〇	六、四三	一〇〇〇	一一三三	甲

水力地點ノ説明

順位四二〇 本地點ハ白瀧ノ右岸ニ取入レ全部隧道ニ

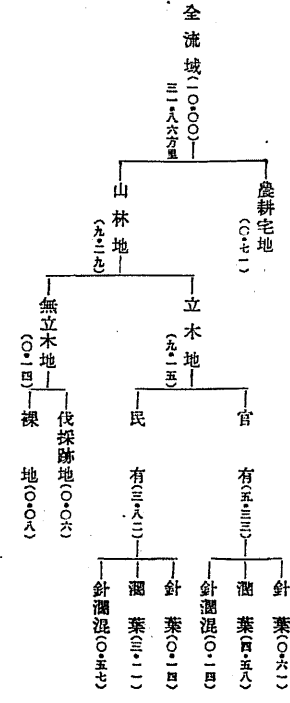
テ「ダバ」澤落合ニ導キ發電ス

順位四二一 本地點ハ前地點發電所下流對岸ニ取入口ヲ設ケ石橋ニテ放水ス水路ハ全部隧道トス

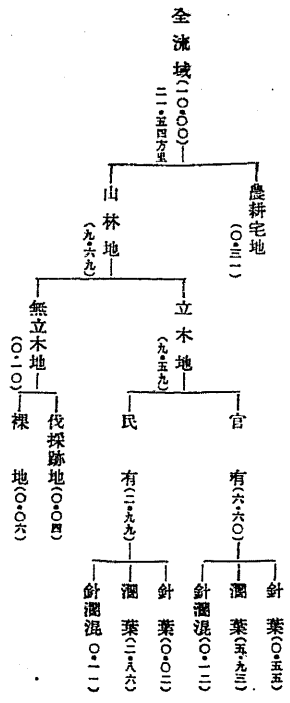
順位四二二 本地點ハ前地點ノ下流ヨリ取水シ左岸ニ沿フテ水路ヲ開鑿シ須向ニ發電所ヲ建設ス

南方ニ花崗岩ノ露出ヲ見ル此ノ外大部分ハ第三紀層ニ屬シ海味以下ノ沿岸ニ狹長ナル第四紀層アリテ東方ニ延ヒ山形平野ニ連レリ

寒河江川流域林野狀態一覽表 (最上川合流點ヨリ上流部)



寒河江川流域林野狀態一覽表 (間澤河水所ヨリ上流部)



第七節 寒河江川

一、流域 本川ハ最上川ノ一大支流ニシテ源ヲ朝日嶽ノ北東面ニ發シテ北流シ月山澤ノ西方ニ於テ湯殿山ヨリ發スル大越川ヲ合セ夫ヨリ方向ヲ東ニ轉シ月山澤、本道寺澤等ノ小溪ヲ左右ニ合セ間澤ニテ間澤川ヲ宮内ニテ熊野川ヲ容レ白岩町ヨリ山形平野ニ出テ寒河江町ノ北方ヲ過キテ最上川本流ニ注ク流路約一五里アリ、流域ハ西村山郡ノ大半ヲ占メ面積約三二方里ヲ有ス。流域ハ西方水源地方ニ於テ廣ク東方下流地方稍狹キモ大體ニ於テ東西ニ長ク西方ニハ朝日嶽ノ群峯聳ニ北方ニハ湯殿山、月山等ノ雄峯連互スルヲ以テ自ラ南方及東方ニ向ヒテ大斜面ヲ形成セリ、沿川部ハ河岸諸所ニ小平地ヲ介在スル外ハ峻嶺深谿相接シ幹川南側ノ一部ヲ除キ傾斜頗ル急峻ナリ。地質ハ西北ノ分水嶺一帶ハ火山岩ヲ以テ覆ハレ朝日岳及月山澤ノ

林野狀態ハ前表ノ如ク山林ハ全流域ノ大部ヲ占メ内大半ハ國有林ニシテ朝日岳ノ北方ニ擴カレル大林地ト白岩

町附近ノ二、三林地トヲ合スレハ面積一六方里ニ達ス其ノ樹林ノ分布ハ同高峯ノ山頂部ハ基岩露出シ成育良好ナラス僅ニ「ネヅ」及「姫小松」點生スルニ止マレトモ山腹ニ至レハ地面ハ落葉藓苔ヲ以テ覆ハレ全山殆ト山毛櫸林ニシテ之ニ僅少ノ針葉樹及潤葉樹ヲ加フ潤葉樹ハ「檜」「楓」「朴」等ヲ主トシ針葉樹ハ「ネヅ」松、姫小松等ニシテ樹齡四〇年以下ノモノ最多シ。村有林民有林モ稍良好ニシテ逐年更新セラレツツアリ

本流域内ニハ氣象觀測所ナキヲ以テ氣溫ノ變化ヲ詳知シ難キモ附近ノ觀測結果ヨリ推定スレハ年平均一〇度ヲ上下スルモノノ如ク、雨量觀測所ハ上流大井澤及下流寒河江ノ二箇所ニアリ其ノ大正八、九、十、三箇年間觀測ノ結果ニ

寒河江川 流量表

平均ニハ大正十一年ヲ含マス
大正八年ハ次年ノ資料ヲ充當シテ査定セルモノトス

順位	舊順位	河川	測水所	面積	流量				流域一方里當流量				
					年次	最大	平水	低水	最小	最大	平水	低水	最小
105	224	寒河江川	山形縣西村山郡西山村 間澤下堀	225	大正八年 一五五〇〇	七〇〇	四五〇	一四四	七〇	三五七	二〇九	六七	四八
					大正九年 一九二〇〇	六七六	四八	一三三	八九	三〇四	一九九	一〇八	八五
					大正十年 二七六〇〇	九二〇	五〇〇	二五一	一八〇	四二二	二二二	二二七	二七
					大正十一年 三三、〇〇〇	九五〇	五〇五	三〇〇	二〇〇	四一〇	二三四	二四四	一四〇
					平均	七八五	四四九	二二〇	一三〇	三六四	二二三	九七	一四〇

ヨレバ平均降水量ハ年量大井澤ハ二、四〇〇耗寒河江ハ一、〇〇〇耗最大月量ハ大井澤一月ニ三二〇耗寒河江九月ニ一七〇耗、最小月量ハ大井澤六月ニ一一〇耗、寒河江三月ニ三八耗ヲ量リ降雨日數ハ大井澤二〇三日、寒河江一一〇日ナリ

二、河川狀況 大越川合流點ヨリ上流見附ニ至ル數里ノ間ハ兩岸多少ノ平地ヲ存シ山勢急ナラス、河流ハ幅廣ク勾配亦急ナラサレトモ月山澤附近ヨリ以東白岩町ニ至ルマテハ山岳河川ニ覺リ河岸ハ過半斷崖ニシテ河幅狹ク峽谿ヲナシ河床ニハ砂礫玉石等多キモ岩盤ノ露出ヲ見ル所亦尠カラス。河川勾配ハ一般ニ急ニシテ字水瀨附近ニハ水瀨瀧ト稱スル高サ數十尺ノ飛瀑アリ。水力利用ノ見込アリ

ル區間ハ字中村ヨリ下流白岩町ニ至ル約七里ノ間ニシテ落差八〇〇尺餘ヲ有スレトモ大越川ヨリ上流部ハ落差比較的少ク海味以下ハ既ニ利用セラレタルヲ以テ良好ナル水力地點ヲ殘スハ月山澤附近ヨリ横軸迄ナリトス。流量ノ變化ニ就テハ第一節ニ於テ略述セシモ本川中流部ナル西山村大字間澤測水所ニ於ケル調査ノ結果ニ依レハ流量ノ最多キハ融雪期ノ四、五、六、月ニシテ年中ノ最高モ亦此期間ニ雨期ノ九、十月之ニ次ク流量ノ最少キハ二月ニシテ最小流量モ亦此ノ月ニ起ルコト多ク七、八月之ニ次ク濁水量ハ流域一方里當約一〇個ニシテ最大流量ハ濁水量ノ一〇〇倍ヲ越エ最上川水系中變化ノ最甚シキモノナリ。冬季ハ河岸ニ薄氷ヲ見ルコトアリ

三、水利及治水 本川下流部ニハ舟航少シク行ハルレト

寒河江川 水力地點表

順位ニハ「」ヲ附セルハ許可地點ト關係アリ
落差ニハ「」ヲ附セルハ概定數ナリ

用水名	灌溉面積	灌溉地區	取入口	使用水量
陸合堰	六〇町	西山村大字陸合	西山村大字海味	秋、春、夏、冬、一、五
新田堰	二〇〇	高松村大字各澤	高松村大字各澤	秋、春、夏、冬、二、〇
高松堰	一、〇〇〇	高松村 柴橋村	高松村大字各澤	秋、春、夏、冬、四、二
谷地堰	二、〇〇〇	谷地町 北谷地村	醍醐村大字日和	秋、春、夏、冬、七、二
寒河江堰	一、〇〇〇	三泉村 醍醐村	高松村大字八畝	秋、春、夏、冬、四、五
三泉堰	三〇〇	三泉村 溝延村	三泉村	秋、春、夏、冬、二、五

灌溉用水調表

最上川水系寒河江川

モ中流以上ニハナシ。流木、漁業亦行ハルレトモ其ノ量大ナラス又幸生、陸合見立ノ三嶺山ヨリ排除スル惡水西山村地内ニ存スレトモ之亦河水ニ影響ヲ及ホスニ至ラス唯灌溉用水ノミハ中流以下頗ル多シ即チ其ノ用水路名灌溉面積等左表ノ如シ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	延長路	面積	發電率	年平均馬力數	等級
四三三	寒河江川	番外五	山形縣西村山郡大井澤村 原	同 郡大井澤村 檜原	濁水 五五 低水 一二二 平水 二〇八	* 一一四	六九六 一、五四四 二、六三二	二三八〇	五七二	一〇〇〇 九二六 八九八	六九六 一、四〇〇 二、三六四	甲

順位	河川	番地號點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水長路	面積積域	能發電率	年平均馬力數	等級
四二四	寒河江川	番外六	山形縣西村山郡大井澤村 榑原村	同郡 本道寺村 深澤村	湫水 八四 低水 一八四 平水 三一五	* 八八	一、七九七 三、〇七七	一四〇〇	八六五	一〇〇〇 九二六	一六四 二七三	甲
四二五	同	五	山形縣西村山郡本道寺村 月岡村	同郡 本道寺村 夫倉村	湫水 一二六 低水 二七七 平水 四七三	二八一	三、九三〇 八、六四〇 一四、七五三	二二八〇	一三〇〇	一〇〇〇 九二六 八九八	三九〇 八〇〇 一三、四八	甲
四二六	同	六	山形縣西村山郡本道寺村 本道寺 福井村	北同 澤郡 坂ノ山村	湫水 一五一 低水 三三二 平水 五六七	一三〇	二、一七九 四、七九一 八、一八二	一、五八〇	一五五九	一〇〇〇 九二六 八九八	二二七九 四四六 七、四七	甲
四二七	同	七	山形縣西村山郡川土居村 入間 川土居村	高同 瀨郡 元川土居村	湫水 一八〇 低水 三九三 平水 六七六	一一〇	二、一九八 四、七九九 八、二五四	二、六〇〇	一八五六	一〇〇〇 九二六 八九八	二二九六 四四四 七、四二	甲

水力事業トシテハ既設發電所二、外ニ工事未着手ノ許可地點一アリ全部山形電氣株式會社ノ企畫ニ係ル

四、水力地點

水力地點ノ説明

順位四二三 本地點ハ字原ヨリ取入レ右岸ニ開渠ヲ開鑿シ字檜原ニ發電所ヲ設ク

順位四二四 本地點ハ前地點發電所ノ下流ニ取入口ヲ

設ケ深澤ニテ發電ス水路ハ右岸ニ沿ヒ中央約二〇〇間ヲ隧道トシ他ハ全部開渠トス

順位四二五 本地點ハ本道寺村字崩淵ニテ右岸ヨリ取入レ全部隧道ヲ以テ導水シ字夫倉ニ至リ放水ス

順位四二六 本地點ハ本道寺村字福井榑ニテ左岸ヨリ取入レ全部隧道ヲ以テ導水シ西山村字坂ノ下ニテ放水ス

順位四二七 本地點ハ川土居村字入間口ニテ右岸ヨリ

取入レ全部開渠ニテ同村字元組ニ至リ發電ス本地點ハ選定後山形電氣株式會社ニ許可セラレタリ

第八節 小國川

一流域

本川ハ山形縣最上郡ノ東南部ニ位シ最上川ノ支流中稍大ナルモノニシテ源ヲ東南宮城縣界ニ聳ユル翁峠(一、〇七五米)ニ發シ北西ニ流レ下野ニテ東北大柴山(一、〇五六米)ヨリ西南流シ來ル明神川ヲ容レ向町ニテ右岸ニ編川ヲ合セ方向ヲ西ニ轉シ大堀附近ニテ北方秋田縣界ヨリ南流シ來ル白川及大横川ヲ右岸ニ入レ漸次山峽ニ入り大燒黒山ノ北麓ヨリ西麓ニ迂迴シ長澤附近ヨリ西南ニ向ヒ舟形ノ北端ヲ過キ最上川本流ニ合流ス。流路屈曲甚タ多ク互長一二里ニ達シ東西小國村及舟形村ノ全部ヲ含ミ面積約二六方里アリ、上流部ハ幅員大ニシテ中流以西ハ甚タ狹窄シ地勢高原狀ヲ呈シ上流部傾斜頗ル緩ニシテ所謂向町平野ヲナスモ字鶴杉以西ハ山岳蹙リ山勢急峻ナル處多ク長尾附近ヨリ下流ニ至レハ沿岸再ヒ開ケ耕地ヲ存シ山勢亦緩トナル。地質ハ大柴山、禿岳、軍澤嶽一帶ハ頗ル廣大ナル花崗岩地ニシテ大明神山附近ニモ同岩ノ小露出ヲ見レトモ北村山郡界ニハ火山岩露ハレ北西ニ突出シテ字

見ノ西方ヲ横斷セリ富澤、鶴杉間ニ於ケル河川沿岸及長尾以下ノ平坦部ニハ狹長ナル第四紀層存シ其ノ他ハ第三紀層ニ屬ス

小國川流域林野狀態一覽表

(最上川合流點ヨリ上流部)

全流域(一〇〇〇)	農耕地(〇七七)	山林地(九三三)	無立木地(二八五)	伐採跡地(〇三三)	官有(六五九)	民有(〇七九)	針葉(〇〇八)	針葉混(〇五五)	闊葉(〇二九)	針葉混(〇三三)
-----------	----------	----------	-----------	-----------	---------	---------	---------	----------	---------	----------

小國川流域林野狀態一覽表

(瀨見湖水所ヨリ上流部)

全流域(一〇〇〇)	農耕地(〇六四)	山林地(九三六)	無立木地(二九二)	伐採跡地(〇二二)	官有(七〇七)	民有(〇三三)	針葉(〇二二)	針葉混(〇四〇)	闊葉(〇一八)	針葉混(〇二二)
-----------	----------	----------	-----------	-----------	---------	---------	---------	----------	---------	----------

本流域ハ山林地豐富ニシテ全面積ノ大部ヲ占メ國有林

ハ其ノ約七割ニ當リ上流分水嶺全部ニ跨リ森林狀態頗ル良好ニシテ人工植林ノ成育亦良好ナリ唯民有地ニ接續セル丘陵地ノミハ馬産地ノ關係上植林中止ノ狀態ニ在リ、民有林ハ平坦部ニ近キ山地ヲ占メ伐採跡地及放牧採草地多ク比較的荒廢シ狀態良好ナラス。樹種ハ人工植林以外ハ山毛櫸、檜、樺等ノ一般濶葉樹ニシテ針葉樹ハ峯筋ニ點生スルヲ見ル、樹齡ハ三〇年乃至一八〇年ナレトモ四、五十年級ノモノ最多シ

降水量ハ本省設置ノ西小國觀測所ノ大正八、九、十、三箇年ノ觀測ニヨレハ年量平均二、三二八耗ニシテ多雨ノ地タリ積雪亦數尺ニ達ス、降水量ノ多キハ冬季一月ニシテ月量四六〇耗ニ達シ九月及二月之ニ次ク、降水日數ハ年一九四日

小國川 流量表

平均ニハ大正十一年ヲ含マズ
大正八年ハ次年ノ資料ヲ充當シテ査定セルモノトス

順位	舊順位	河川	測水所	流域面積	年次				流域一方里當流量							
					最大	平均	低水	最小	最大	平均	低水	最小				
一〇六	二〇五	小國川	山形縣最上郡西小國村大堀瀨見	二、三二二	大正八年 三、八九〇	大正九年 二、四〇〇	大正十年 八、〇〇〇	大正十一年 二、三九〇	四、四七五	二、四〇〇	一、四一〇	二、一八四	二、二一〇	一、二二一	六八	六〇
					平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均

ニシテ冬季ハ殆ト連日降雪アリ氣温年平均ハ一〇・五度ニシテ八月最高ク二七度、日ノ最高ハ三五・四度ニ達シ、月最低ハ二月ニテ(一)一九度、日ノ最低ハ(一)二〇度ニ下レリ、蒸發量ハ年量四二六耗ナリ。流域内ニハ沼湖ナシ

二、河川狀況 字鶴杉ヨリ上流ニハ支流甚タ多ク各支流ノ河岸ハ第三紀層ノ懸崖ヲナセトモ下リテ平地ニ出ツレハ河床高ク砂礫堆積シ流路一定セス鶴杉、長尾間ハ山岳兩岸ニ蹙リ河岸ニハ斷崖絕壁ヲ連ネ河床ハ概ネ玉石ヲ以テ覆ハルレトモ所々岩盤ヲ露出シ長尾以下沿岸ハ高臺ヲ形成シ岸高ク土質軟弱ニシテ崩壞地多ク河幅廣ク河心一定セス河床ハ砂礫ヲ以テ埋メラル而シテ全川ヲ通シテ勾配急ナラス鶴杉ヨリ下流最上川落合ニ至ル間稍急ナレトモ

其ノ距離約六里ニシテ總落差三六〇尺ヲ有スルニ過キサ
ルヲ以テ良好ナル水力地點ニ乏シ。流域内ニ温泉湧出ス
レトモ河水ハ無色透明ニシテ有害物質ヲ認メス。調査期
間ニ於ケル平均濁水量ハ流域一方里當九五個ニシテ最大
流量ハ濁水量ノ三〇倍内外ナリ其ノ變化割合ニ少ク又水
位ノ變化ニヨリ河川狀況ニ大ナル變化ヲ來スコト稀ナリ

小國川 水力地點表

順位	河川	番地	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	延長路	流域面積	發電率	年平均馬力數	等級
四二八	小國川	八	山形縣最上郡西小國村大堀瀨見	長同澤郡長尾村	平水 一九七 低水 三〇五 濁水 四七一	八七	一、九〇二 二、九四五 四、五四八	三、〇〇〇	二〇七六	九七・七	二八・八 三八・五	甲
四二九	同	番外一	山形縣最上郡舟形村長尾	長同澤郡内舟形山村	平水 二二四 低水 三三一 濁水 五一	五七	一、三五四 二、〇九四 三、二二三	一、九〇	二、四九	九七・七	二〇・四 二七・九	甲
四三〇	同	番外一五	山形縣最上郡舟形村長澤	舟同形郡舟形村	平水 二二二 低水 三四三 濁水 五三〇	五八	一、四二九 二、二〇八 三、四二二	二、三三〇	三、三〇四	九七・七	二二・三 二八・九	甲
四三一	同	番外一六	山形縣最上郡舟形村	舟同形郡長者原村	平水 二二〇 低水 三五六 濁水 五五〇	四五	一、一四九 一、七七八 二、七四七	二、三三〇	二、四一五	九七・七	二四・一 三一・〇	甲

三、水利及治水 治水、上下水道、舟筏、流木及漁業ニ關係ナ
キモ灌溉用水路七箇所ニシテ其中大ナルハ三光堰及大堰
ニシテ前者ハ一三五個ヲ長尾ヨリ、後者ハ一四五個ヲ長澤
ヨリ取水シ共ニ舟形村ヲ灌溉ス
水力事業ハ最上川電氣株式會社ノ既設發電所一アリ

四、水力地點

水力地點ノ説明

順位四二八 本地點ハ西小國村字割地ニ取水堰堤ヲ設ケ右岸ニ取入レ河岸ニ沿フテ水路ヲ開鑿シ舟形村字長尾ニ至リテ發電ス水路ハ大部分隧道ニシテ開渠ハ僅ニ七〇〇間餘ナリ

順位四二九 本地點ハ前地點ノ發電所ノ下流ニテ取入レ字内山ニテ放水ス水路ハ全部開渠トシ右岸ヲ通ス

順位四三〇 本地點ハ取入口ヲ長澤ニ設ケ水路ハ全部開渠トシ舟形ニ導キ放水ス

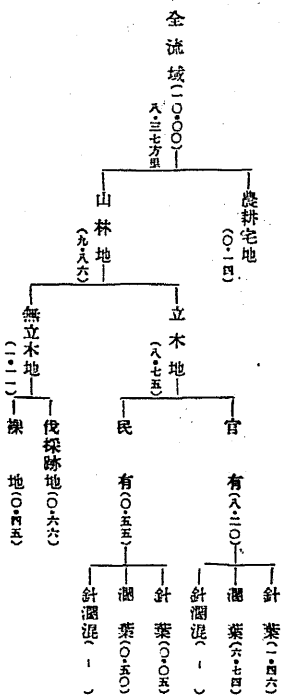
順位四三一 本地點ハ舟形ノ左岸ヨリ取入レ開渠ニテ長者原ニ導キ發電ス

第九節 銅山川

一流域 本川ハ一名ヲ烏川ト稱シ奥羽ノ名山ナル月山ニ發シ最上郡ノ南部ヲ西村山郡界ニ近ク東流シ永松鑛山ノ南方ニテ方向ヲ北ニ轉シ大森山ノ南麓ニテ北東ニ向ヒ大小數多ノ屈曲ヲ畫キツツ肘折、鹽等ノ溫泉地ヲ經テ清水ニ至リ最上川ニ注ク流路七里餘支流アラノ澤赤砂川ノ二川途中ニ合流ス。本川ノ流域ハ大藏村ノ全部ヲ占メ面積一二方里アリ形狀ハ狹長ニシテ西南ヨリ東北方ニ延ヒ地

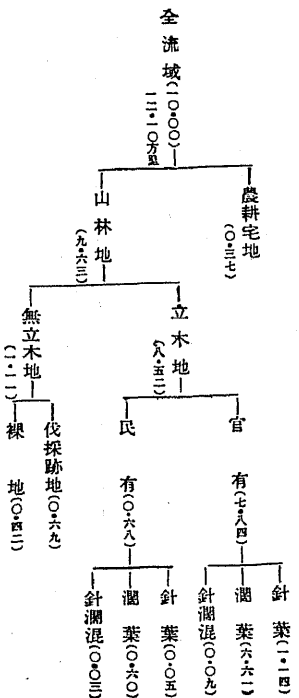
銅山川流域林野狀態一覽表 括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ

(鹽湖水所ヨリ上流部)



勢モ同方向ニ低下スレトモ局部的ニ觀レハ鹽ヨリ下流ハ山陵河岸ヲ距リ稍廣キ平地ヲ開展ス同所ヨリ上流ハ山岳重疊シ地勢頗ル峻峻ナリ其ノ地質ハ水源附近ニ火山岩存スレトモ永松銅山附近以北ハ全部第三紀層ニシテ鹽以下ノ平地ハ第四紀層ニ屬ス

銅山川流域林野狀態一覽表 括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ (最上川合流點ヨリ上流部)



流域内山林ノ九割以上ハ國有林ニシテ水源地ナル月山ノ東方ヨリ北東、北村山郡、東田川郡、西村山郡等ニ跨リ北ハ烏川部落ニ及ヒ人工植林ヲ主トシ成育良好ナルカ外ニ天然林アリテ之亦大部分鬱蒼タル密林ヲナシ林相頗ル良好ナリ。村有林、民有林ハ甚々僅少ニシテ林相亦良好ナラサレトモ近時官行造林ト相俟テ植栽ニ努メツツアリ。樹林ハ殆ト山毛櫸ニシテ之ニ檜、シホジ、枌等ヲ混ヘ針葉樹トシ

年平均氣温ハ一度ニシテ降水量ハ頗ル多ク年量二七八四耗ニ達セリ

二、河川狀況 山間部ハ懸崖絶壁兩岸ニ蹙リ高キハ數百尺ニ及ヒ容易ニ近クヲ得ス大部分第三紀層ニ屬シ軟岩ナルカ又火山岩或ハ砂礫層ノ顯出セル所モアリ而シテ字鹽ヨリ上流ハ水流甚々急ニシテ激流相次キ平均勻配六〇分ノ一ヲ保チ落差ニ富ム。本川ハ立谷澤川、梵字川ト共ニ月山系河川トモ稱スヘキモノニシテ水量頗ル多ク大藏村字鹽測水所ニ於ケル調査ニ依レハ流域一方里當湧水量ハ一五個ヲ超ニ最大流量ハ湧水量ノ七〇倍内外ニシテ其ノ變化大ナラズ季節別ニ依ル流量變化ノ狀況等ハ第一節ニ述ヘタルモノト大差ナシ

銅山川流量表

平均ニハ大正十一年ヲ含マス 大正八年ハ次年ノ資料ヲ充當シテ査定セルモノトス 流量ニ()ヲ附セルハ用水ヲ加算シタルモノナリ

順位	舊順位	河川	測水所	流域面積	流量					流域一方里當流量					
					年次	最大	平水	低水	湧水	最小	最大	平水	低水	湧水	最小
一〇七	一	銅山川	山形縣最上郡大藏村	八三七	大正八年 二二六八〇	二七六五	二七八〇	二七九	二八四	二八五	二八六	二八七	二八八	二八九	二九〇
					大正九年 四〇〇五〇	四〇五〇	四〇六〇	四〇七	四一〇	四一二	四一三	四一四	四一五	四一六	四一七
					大正十年 五三三三〇	五三三〇	五三三〇	五三三	五三六	五三九	五四〇	五四一	五四二	五四三	五四四
					大正十一年 三三〇〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇	三三三	三三六	三三七	三三八	三三九	三四〇	三四一
					平均	三三〇〇	三三〇〇	三三〇	三三三	三三六	三三七	三三八	三三九	三四〇	三四一

三、水利及治水 治水、灌漑、水車排水、舟筏、流木、漁業等ニ關係ナキモ水力事業トシテハ最上川電氣株式會社ノ建設發

銅山川水力地點表

Table with 10 columns: 順位, 河川, 番地點, 取入口, 放水口, 水量, 落差, 馬力數, 亘水長路, 面積, 發電率, 年平均馬力數, 等級. Rows include 銅山川, 同, 同, 同.

電所一アリ

四、水力地點

水力地點ノ説明

順位四三二 本地點ハ大藏村字猫澤ニテ右岸ヨリ取入レ河岸ニ沿フテ水路ヲ開鑿シ抜川落合ニ發電所ヲ設ク水路全長約二、九〇〇間ノ内九〇〇間ヲ開渠トナシ殘部ヲ隧道トナス
順位四三三 本地點ハ肘折ヨリ取入レ全部隧道ニテ深澤ニ導キ放水ス

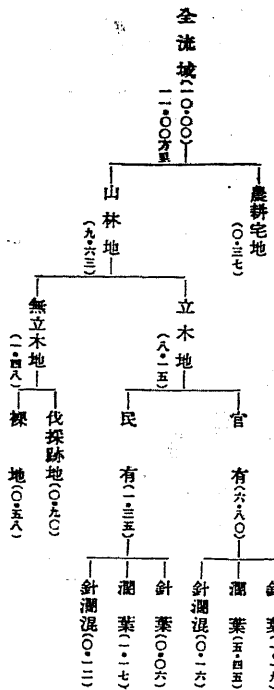
第十節 立谷澤川

一流域 本川ハ最上川下流部ノ一支流ニシテ東田川郡

ノ東南ニ在ル山多東面ニ發源シ北流シテ二三本支流ヲ左右ニ入レ同山ノ北麓ヲ迂廻シ瀬垣ニテ再ヒ北方ニ向ヒ木澤肝煎等ヲ過キ清川ノ西端ニテ最上川ニ流入ス此ノ流程九里ニシテ其ノ流域ハ立谷澤村ノ全部及清川村ノ一部ヲ占メ面積一一方里ヲ有ス。流域ノ形狀ハ南北ニ狹長ニシテ概シテ南ヨリ北ニ向ツテ傾斜スレトモ局部ノ地勢トシテハ月山及劍ヶ峯附近ノ山頂部ハ比較的緩斜地多キモ峯其ノ他ノ部分ハ谷深キヲ以テ峻嶮ナル傾斜ヲナシ表土崩壞シテ基岩ノ露出セル箇所尠カラズ中流以下ニ下レハ漸次兩岸開ケ字工藤附近ヨリ稍廣キ耕地ヲ見兩岸山勢亦緩ナリ。地質ハ立谷澤以南ノ上流部ハ全部火山岩ニシテ同所以北ノ下流部ハ總テ第三紀層ニ屬ス

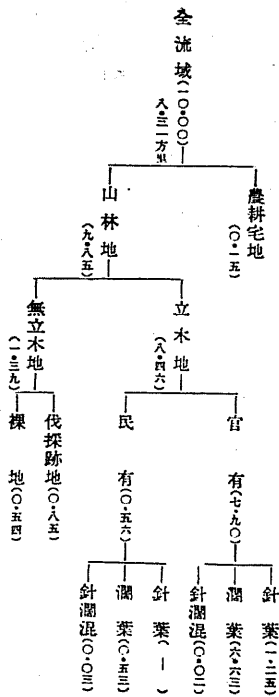
立谷澤川流域林野狀態一覽表

括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ



立谷澤川流域林野狀態一覽表

括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ



本流域内ノ農耕地及無立木地ハ兩者ヲ合スルモ全流域ノ二割ニ足ラス他ハ總テ立木地ニシテ國有林其ノ八割五分ヲ占メ水源地ナル月山ノ北方流域ヲ覆ヒ遠ク最上川ニ達シ人工植栽林ヲ主トシ成育良好ナルカ天然林ハ老齡ノ密林ソノ大部分ヲ占メ林相極メテ良好ナリ。民有林ハ國有林ニ比シ伐採跡地多ク林相不良ナレトモ官行ニヨリ植栽スルノ計畫アリ、樹種ハ植栽セルモノハ杉、檜、赤松、落葉松等ノ針葉樹ナレトモ天然林ニアリテハ山毛櫸、イタヤ、サハラ、樺等ヲ主トシ之ニ僅少ノ赤松、杉、姫子松等ヲ混生シ樹齡ハ三〇年前後ノモノ最多ク範圍ハ二〇年乃至一〇〇年ナリトス

氣温ハ最上川水系中ノ高キ部ニ屬シ年平均一一度内外

ニシテ降水量亦頗ル多ク三、〇〇〇耗以上ニ達ス流域内ニハ沼湖ナキモ湧水多シ

二、河川状況 上流部河岸ニハ諸所ニ崩壊セル絶嶮地ヲ見レトモ大部分ハ兩岸山低ク河幅廣ク河床ニハ到ル處砂礫堆積シテ砂洲ヲナシ流路一定セス勾配ハ急ニシテ約六〇分ノ一ヲ保チ落差ニ富ミ就中水力利用ニ適スルハ赤澤落合ヨリ肝煎ニ至ル約三里ノ間ナリ。流量ハ月山ノ積雪湧水ニ涵養セララルヲ以テ常ニ甚タ豊富ニシテ水量ノ多キコト最上川水系中他ニ比類ナク肝煎測水所ニ於ケル濁水量一四六個ニシテ流域一方里當一七六個ヲ算シ最大流量ト濁水量ノ比六〇内外ニシテ變化割合ニ少シ而シテ流量ノ最多キハ四、五、六月ノ融雪期ニシテ八月末ヨリ十月初

ニ至ル雨期之ニ次キ流量ノ最少キハ二月及七、八月ノ候ナリ、平時ニアリテハ河流穩ナルモ洪水ニ際シテハ土砂ヲ移動シ河床ノ變動尠カラズ。冬季ハ嚴寒ノ候河岸ニ薄氷ヲ見ル

見レトモ大部分ハ兩岸山低ク河幅廣ク河床ニハ到ル處砂礫堆積シテ砂洲ヲナシ流路一定セス勾配ハ急ニシテ約六〇分ノ一ヲ保チ落差ニ富ミ就中水力利用ニ適スルハ赤澤落合ヨリ肝煎ニ至ル約三里ノ間ナリ。流量ハ月山ノ積雪湧水ニ涵養セララルヲ以テ常ニ甚タ豊富ニシテ水量ノ多キコト最上川水系中他ニ比類ナク肝煎測水所ニ於ケル濁水量一四六個ニシテ流域一方里當一七六個ヲ算シ最大流量ト濁水量ノ比六〇内外ニシテ變化割合ニ少シ而シテ流量ノ最多キハ四、五、六月ノ融雪期ニシテ八月末ヨリ十月初

立谷澤川 流量表

平均ニハ大正十一年ヲ含マス 大正八年ハ次年ノ資料ヲ充當シテ査定セルモノトス

用水名	面積	灌漑地區	取入口	使用水量	
				春、夏、秋、冬	平均
科澤堰	二、八〇	立谷澤村大字科澤	立谷澤村大字科澤澤ノ澤	五、五	五、五
中木村堰	六、五	立谷澤村大字肝煎	立谷澤村大字科澤澤ノ澤	九、七	九、七
鉢ノ子堰	二、〇	立谷澤村大字肝煎	立谷澤村大字科澤澤ノ澤	四、五	四、五
松木堰	五、〇	立谷澤村大字肝煎	立谷澤村大字科澤澤ノ澤	八、五	八、五
中島堰	六、五	立谷澤村大字肝煎	立谷澤村大字科澤澤ノ澤	一〇、〇	一〇、〇
片倉堰	二、〇	立谷澤村大字肝煎	立谷澤村大字科澤澤ノ澤	三、〇	三、〇

順位	舊順位	河川	測水所	面積	流量			流域一方里當流量		
					年次	最大	平均	最大	平均	最小
一〇八	三九	立谷澤川	山形縣東田川郡立谷澤村 肝煎家ノ前	八三二	大正八年 七、七六〇	三、五五	一、五五	九、四四	四、七	三、〇三
					大正九年 八、四四〇	三、五五	一、五五	九、四四	四、七	三、〇三
					大正十年 七、六四〇	三、五五	一、五五	九、四四	四、七	三、〇三
					大正十一年 四、六二〇	三、五五	一、五五	九、四四	四、七	三、〇三
					平均 三、九八	三、五五	一、五五	九、四四	四、七	三、〇三

水車ノ位置及使用水量調表 最上川水系立谷澤川

取入口	放水口	用途	水使用量
立谷澤村 大字肝煎 字水澤	立谷澤村 大字肝煎 字水澤口	精米	五
立谷澤村 大字肝煎 字長相見	立谷澤村 大字肝煎 字長相見	同	五
立谷澤村 大字肝煎 字中前田	立谷澤村 大字肝煎 字中前田	同	五
立谷澤村 大字肝煎 字東前田	立谷澤村 大字肝煎 字東前田	同	五

及水車四箇所アヲ引用水量ハ前表ノ如シ

四、水力地點

水力地點ノ説明

順位四三五 本地點ハ赤澤落合ニ取入口ヲ設ケ全部隧 道ニテ立谷澤村字中山ニ導水シ發電ス

順位四三六 本地點ハ前地點發電所ノ下流對岸ニ取入 レ立谷澤村字中割ニ發電所ヲ設ク、水路ハ全部開渠トシ左 岸ヲ通ス

順位四三七 本地點ハ前地點發電所ノ下流字真木坂ヨ

立谷澤川水力地點表

三、水利及治水 本川ハ勾配急ニシテ亂流シ洪水時河水 氾濫ス。流木、舟筏、漁業等ノ關係ナキモ灌漑用水路六箇所

順位	河川	番地	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	延長路	面積	發電率	年平均馬力數	等級
四三五	立谷澤川	一八	山形縣東田川郡立谷澤村 立谷澤 赤澤澤	立谷澤 中 立谷澤村	濁水 一〇四 低水 一六六 平水 二八四	三九一	三、四七二	二、七三六	四、三六七	一〇〇・〇	二、七三六	甲
四三六	同	一九	山形縣東田川郡立谷澤村 立谷澤 中山	立谷澤 中 立谷澤村	濁水 一〇四 低水 一六六 平水 二八四	二二七	五、五二二	九、四一八	四、三六七	一〇〇・〇	二、七三六	甲
四三七	同	二〇	山形縣東田川郡立谷澤村 立谷澤 真木坂	科澤 立谷澤村	濁水 一二五 低水 一九八 平水 三三九	一三七	三、四七二	二、七三六	四、三六七	一〇〇・〇	二、七三六	甲

順位	河川	番地	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水長路	面積積域	能發電率	年平均馬力數	等級
四三八	立谷澤川	一〇	山形縣東田川郡立谷澤村科澤中山	山形縣東田川郡立谷澤村科澤中山	湧水 一三七 低水 二一八 平水 三七三	九四	一、四二九 二、二七五 三、八九二	一三〇〇	七九	一〇〇〇 五五六 八七	一四元 二七五 三、八〇	甲
四三九	同	一一	山形縣東田川郡立谷澤村松木鉢ノ子	山形縣東田川郡立谷澤村松木鉢ノ子	湧水 一四八 低水 二三六 平水 四〇四	一一一	一、八二四 二、九〇八 四、九七八	二、〇〇〇	八四三	一〇〇〇 五五六 八七	一八四元 二七〇 四〇七	甲
四四〇	同	一二	山形縣東田川郡立谷澤村肝煎前川原	山形縣東田川郡立谷澤村肝煎前川原	湧水 一七六 低水 二七九 平水 四七八	八一	一、五八二 二、五〇八 四、二九八	二、五九〇	九九八	一〇〇〇 九五六 八七	一五八元 二二九八 三、五二一	甲

リ取水シ左岸ニ開渠長一、七〇〇間ヲ開鑿シ字中山ニテ發電ス

順位四三八 本地點ハ前地點ノ放水ヲ受ケテ直チニ取入レ左岸山麓ニ沿ヒ開渠ヲ掘鑿シ字鉢ノ子ニ至リテ發電ス

順位四三九 本地點ハ字鉢ノ子ニテ左岸ヨリ取入レ全部開渠ニテ導水シ字東田ニ發電所ヲ建設ス

順位四四〇 本地點ハ取入口ヲ字前川原ニ設ケ字片倉ニテ放水ス水路ハ全部開渠トス

第十一節 大鳥川、梵字川

一流域 兩川ハ共ニ山形縣ノ西方ニ位シ其ノ合流地字落合ヨリ下流ヲ赤川ト稱シ同所ヨリ庄内大平野ニ出テ平野ノ西部ヲ北方ニ貫流シ鶴岡町ノ東部ヲ過キ酒田港附近ニテ最上川ニ注ク最上川水系最下流ノ一大支流ナリ

大鳥川ハ朝日嶽ノ西北ニ在ル小湖大鳥池ニ發シ北西流シ常願寺山ノ東麓ヲ迂迴シ大鳥ニテ枡形山ヨリ發スル枡形川ヲ左岸ニ合セ進路ヲ北々東ニ轉シ上田澤大針等ヲ經テ落合ニテ梵字川ト合流ス此ノ流路約一里ニシテ流域

中ニ大泉村、本郷村ノ大部分ヲ含ミ面積約一七方里アリ

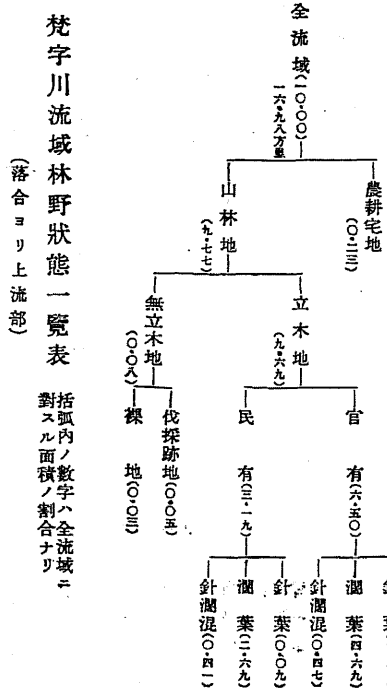
梵字川ハ上流ヲ八久和川ト稱シ朝日嶽ノ北方ニアル寒江山ニ源ヲ發シ大鳥川ノ東方ニ接シ大小幾多ノ屈曲ヲ畫キツツ北流シ字八久和ニテ右折シ北東流スルコト約一里右岸ニ湯俣川ヲ入レ更ニ下ルコト約二里東方湯殿山ヨリ流下シ來ル梵字川ヲ入レ梵字川トナル本流ハ字「ノコト」上流ニテ方向ヲ北西ニ轉シ田代澤附近ニテ田麥俣川ヲ右岸ニ受ケ三栗屋ヲ過キ落合ニ出テ大鳥川ニ合ス此ノ流程一五里餘流域ハ東村ノ殆ト全部及大泉村並本郷村ノ一部ヲ占メ其ノ面積一八方里餘ニ達ス。地勢ハ一般ニ南ヨリ北ニ向ツテ傾斜シ流域モ同方向ニ狹長ナリ。大鳥川流域ハ東西ノ幅員上流ニ廣ク下流ニ至ルニ從ヒ狹小トナレトモ梵字川ハ之ニ反シ上流狹小ニシテ下流ニ進ムニ從ヒ増大ス而シテ兩流域ノ境界ニハ戸立山、芝倉山、高安山、猿倉山等ノ峻嶺連リ新潟縣界ナル分水ニハ化穴山、枡形山、重藏山、北俣山等ノ高峯屹立シ又梵字川流域ノ東境西村山郡界ニハ障子嶽、赤見堂、湯殿山等ノ雄峯天ヲ摩スルヲ以テ流域内ノ山勢頗ル峻峻ヲ極メ特ニ梵字川ノ上流部ハ岩骨露出シ絶嶮ノ地多ク近ツクヘカラス只大鳥川流域ニアリテハ大字大鳥及大字上田澤附近ヨリ下流沿岸ニ狹長ナル平

地開ケ又梵字川流域ハ最下流部ニ僅少ノ耕地ヲ存ス

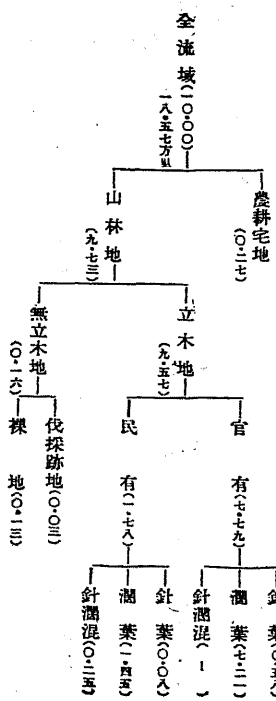
本流域内地質ハ火山岩其ノ大部分ヲ占メ花崗岩及第三紀層之ニ次キ第四紀層最少シ火山岩ハ枡形川以東兩川ノ上流部ヲ過キ西村山郡界ニ添ヒ北方ニ伸展シ羽黒山附近

大鳥川流域林野狀態一覽表
(落合ヨリ上流部)

括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ



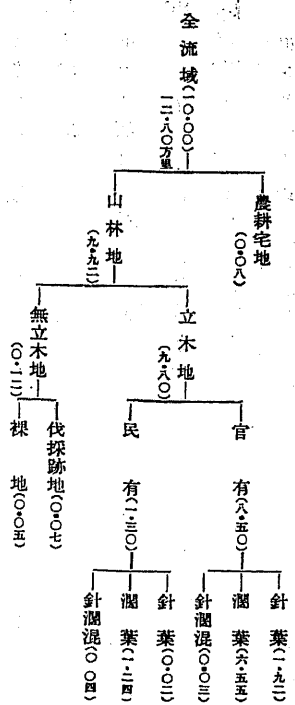
梵字川流域林野狀態一覽表
(落合ヨリ上流部)
括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ



ニ及ヒ花崗岩ハ水源以東岳附近ニ朝日嶽方面ヨリ突出セ
ルモノト西方西田川郡界ノ連峯ヲ覆ヒテ山麓ニ達スルモ
ノトノニアリ第三紀層ハ新潟縣界及大鳥、八久和附近ニ稍
廣キ面積ヲ有シ八久和川ノ沿岸及大鳥川ノ下流左岸ニモ

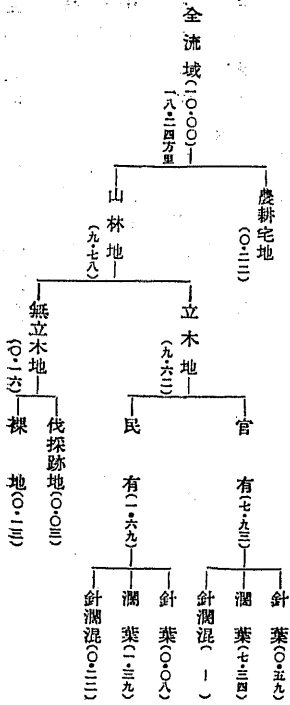
大鳥川流域林野狀態一覽表

括弧内ノ数字ハ全流域ニ
對スル面積ノ割合ナリ
(上田澤測水所ヨリ上流部)



梵字川流域林野狀態一覽表

括弧内ノ数字ハ全流域ニ
對スル面積ノ割合ナリ
(三栗屋測水所ヨリ上流部)



狹長ナル露出ヲ見第四紀層ハ上田澤下流ノ大鳥川沿岸ニ
存スルノミ

林野狀態ヲ見ルニ兩川流域共農耕地地甚タ僅少ニシテ
全流域ハ殆ト森林ヲ以テ覆ハレ其ノ七八割ハ國有林ニシ
テ上流及中流部ヲ占メ大鳥川流域ノ一部ヲ除キ千古斧鉞
ヲ入レサル森林多ク鬱蒼タル老樹林ヲ形成セリ。民有林
モ亦無立木地少ク、植林行ハレ林相一般ニ良好ナリ。天然
林ハ山毛櫸ヲ主トシ栗、檜等ヲ混ヘ針葉樹ハ赤松、姫子松等
多クハ峯筋ニ生育セリ、瀾葉樹ノ樹齡ハ二〇年乃至一二〇
年ニシテ四〇年以上ノモノ大部分ヲ占ムレトモ針葉樹ノ
大部分ハ植栽セルモノナル爲二〇年以下ノモノ最多シ
氣象狀態ニテ本流域ノ特色ハ雨量ノ極メテ多キコトニ
シテ梵字川流域田麥俣ニ於ケル本調査三箇年平均雨量三、
六五二耗、大鳥川流域上田澤ニ於ケル雨量三、八九一耗ハ其
ノ代表的ノモノニシテ積雪モ亦非常ニ多ク最上川水系中
ニテ屈指ノ地タリ。蒸發量ハ割合ニ少ク上田澤ニテ四二
六耗ニ過キス。沼湖トシテハ大鳥川ノ水源ニ大鳥池アレ
トモ面積僅ニ〇二方里ニ過サル小火口湖ナリ
二、河川狀況 大鳥川ハ常願寺山北麓ヨリ下田澤ニ至ル
間所々ニ亂流シ河床ハ大部分玉石又ハ砂礫ヲ以テ覆ハル

レトモ又岩盤露出シ絶壁ヲ成ス所尠カラス然レトモ梵字
川特ニ上流八久和川ニ至リテハ河岸ハ全部斷崖絶壁ニシ
テ其ノ高サ七八十尺ヲ超エ兩岸山勢盛リ河幅僅ニ六七間
ニ過キサル所アリ河床ハ諸所玉石ヲ見レトモ概ネ岩盤ヨ
リ成リ水流岩ニ激シ飛瀑相連ナリ勾配頗ル急ナリ。大鳥
川ハ上流部五三分ノ一、中流部九〇分ノ一、下流部一八〇分

大鳥川、梵字川流量表

平均ニハ大正十一年ヲ含マス
大正八年ハ次年ノ資料ヲ充當シテ査定セルモノトス

順位	舊順位	河川	測水所	面積	年次				流域一方里當流量			
					最大	平水	低水	最小	最大	平水	低水	最小
一〇九	三三	大鳥川	山形縣東田川郡大泉村 上田澤西ノ内	三六〇	一九七〇 大正八年	五五〇 大正九年	三三〇 大正十年	一八二 大正十一年	一五〇〇 大正八年	四三八 大正九年	二〇七 大正十年	一四二 大正十一年
一一〇	三三	梵字川	山形縣東田川郡東村 越中山三栗屋	一八二四	四三〇 大正八年	六五〇 大正九年	三九〇 大正十年	二二〇 大正十一年	一五〇〇 大正八年	四三八 大正九年	二〇七 大正十年	一四二 大正十一年

三水利及治水 兩川共治水工及上下水道、漁業等ノ關
係ナキモ大鳥川ニハ灌溉用水路及水車存在シ梵字川ニハ

流木行ハル其ノ流木ハ全川ニ涉リ主トシテ秋季ニ於テ雜
木二〇、〇〇〇本ヲ流下ス

灌溉用水調表

最上川水系大鳥川

用水名	灌溉面積	灌溉地區	取入口	使用水量
志靈堰	一三	大字上田澤字野中下中島	大泉村大字上田澤字志靈	秋、冬、夏、ナシ
荒澤堰	二三	大字荒澤	大泉村大字荒澤字新澤	秋、冬、夏、ナシ
壽岡堰	二〇	大字大鳥字壽岡	大泉村大字大鳥字壽岡	秋、冬、夏、ナシ

水力事業トシテハ大鳥川ニ鶴岡水力電氣株式會社既設發電所ニアリ梵字川ニハ東田川郡營ノ既設發電所ニアリ何レモ良好ナル地點ナリ

大鳥川水力地點表

順位ニハ附セルハ許可地點ト關係アリ
落差ニハ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地號點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水長路	面積積城	發電率	年平均馬力數	等級
四四二	同 (辨形川ヲ含ム)	二六	山形縣東田川郡大泉村 大鳥富岡	大同鳥郡高泉村	平水 低水 湯水 二九一 一六五 一〇一	八・四	一、五三八 二、五一三	一五〇〇	七三五	八・六 九四八	一四五八 二〇五一	甲
四四一	大鳥川	二五	山形縣東田川郡大泉村 大鳥深谷現	大同鳥郡富岡	平水 低水 湯水 一二八 七三 四五	三三二	二、六九〇 四、七一七	三〇四〇	三三四	八・六 九四八	一六五八 二五五〇	甲
四四三	同	二七	山形縣東田川郡大泉村 大鳥高崎	倉同澤郡下川原村	平水 低水 湯水 三七一 二一〇 一三〇	二四六	一〇、一五八 五、七三四	三、六〇〇	九三九	八・六 九四八	三、五五〇 五、四三六	甲

四、水力地點

取入口	放水口	用途	水使用量
大泉村 大字大鳥字壽岡	大泉村 大字大鳥字壽岡	精米	七〇
大泉村 大字大鳥字壽岡	同村 大字大鳥字同	精米	六〇
大泉村 大字大鳥字繁岡	同村 大字大鳥字繁岡	製材	一五〇
大泉村 大字上田澤字志靈	同村 大字上田澤字志靈	精米	六五
大泉村 大字上田澤字西ノ内	同村 大字上田澤字西ノ内	製精米	二二〇

水車ノ位置及使用水量調表

最上川水系大鳥川

順位	河川	番地號點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水長路	面積積城	發電率	年平均馬力數	等級
(四四四)	同	一三	山形縣東田川郡大泉村 上田澤中	大同針郡本郷村	平水 低水 湯水 五〇六 二八六 一七七	一四四	四、五七一 八、〇八八	二二八〇	二二七九	八・六 九四八	四三三三 六六〇〇	甲
四四五	同	一四	山形縣東田川郡本郷村 大針澤口	砂同川郡砂本郷村	平水 低水 湯水 三二七 二〇一 二〇一	一〇四	三、七五五 六、六七二	二、七〇〇	一四五九	八・六 九四八	三、五七九 五、四四四	甲
四四六	同	番外四	山形縣東田川郡本郷村 行澤	下同名郡下名川村	平水 低水 湯水 三六六 二二六 二二六	* 二八	一、一三八 七〇二	五四〇	一六三六	八・六 九四八	一〇〇〇 七〇一	甲

八久和川水力地點表

順位	河川	番地號點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水長路	面積積城	發電率	年平均馬力數	等級
四四七	八久和川	二二	山形縣東田川郡大泉村 上田澤納場平	上同田郡大泉村 八久和	平水 低水 湯水 一八一 一一三 七八	一二九	二、四九六 三、九九八	一九八〇	五四三	八・六 九四八	二三八一 三三三六	甲
四四八	同	二三	山形縣東田川郡大泉村 上田澤八久和	上同田郡大泉村 上田澤胡桃平	平水 低水 湯水 二二〇 一一一 九一	一二五	一、八一八 二、九一四	二、二八〇	六三三	八・六 九四八	一、七三四 二、四三四	乙
四四九	同	二三	山形縣東田川郡大泉村 上田澤川胡桃平	上同名郡本郷山村	平水 低水 湯水 三一六 一九七 一三七	三〇一	六、五八二 一〇、五五八	三、一〇〇	九四九	八・六 九四八	四、五七七 六、七一九	甲

梵字川水力地點表

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水長路	面流域積	能發電率	年平均馬力數	等級
四五〇	梵字川	番外七	山形縣東田川郡本郷山上名川東郷山	同上郡東郷山	湧水 一七五 低水 二五三 平水 四〇五	二四七	四、七九八 六、九三七 一、一〇四	二五〇	二二六	一〇〇〇 九五四 八三二	四七九八 六六八 九三元	甲
四五二	同	番外八	山形縣東田川郡大綱村	同上郡東郷山	湧水 二二八 低水 三二九 平水 五二七	六三	一、五九四 二、三〇一 三、六八五	一三三〇	一五八三	一〇〇〇 九五四 八三二	一五九四 二二五 三〇六	甲
四五二	同	二四	山形縣東田川郡東郷山越中山三栗屋村	同上郡東郷山	湧水 二六三 低水 三七九 平水 六〇七	五七	一、六六四 二、三九八 三、八四〇	一四四〇	一八二三	一〇〇〇 九五四 八三二	一六六四 二二八 三二五	甲

水力地點ノ説明

順位四四一 本地點ハ常願寺山ノ東麓對岸ニ取入口ヲ設ケ字富岡ニ發電所ヲ設ケ水路ハ右岸ニ沿ヒ隧道開渠相半ス

順位四四二 本地點ハ前地點ノ發電所下流對岸ヨリ取入レ左岸ニ水路長一、五〇〇間ヲ開鑿シ字高崎ニ發電所ヲ設ケ、本地點ハ支流枅形川ノ水流ヲモ合セ引用スルモノニシテ四郎嶽ノ北西麓富岡ニ取入口ヲ設ケ隧道ヲ以テ前記水路ニ接續ス

順位四四三

本地點ハ檜原川落合ヨリ左岸ニ取入レ水路長三、六〇〇間ヲ掘鑿シ倉澤ニ發電所ヲ設ケ水路ハ全長ノ三分ノ二ヲ開渠トシ殘部ヲ隧道トス

順位四四四

本地點ハ上田澤ニ取入口ヲ設ケ澤口ニテ發電所本地點ハ選定後鶴岡水力電氣株式會社ニ許可セラレタリ

順位四四五

本地點ハ字澤口ニテ右岸ニ取入レ河岸ニ沿フテ水路ヲ開鑿シ字砂川ニ發電所ヲ建設ス水路ハ殆ト開渠ニシテ隧道ハ全長ノ五分ノ一ニ過キス

順位四四六 本地點ハ大鳥川ノ水流ヲ右岸字行澤ニテ取入レ梵字川ノ左岸ナル字下名川ニ發電所ヲ設ケ同川ニ放水スルモノナリ水路ハ全部隧道ニシテ長約五四〇間ニ過キス

開渠ニテ導水シ字立岩ニテ發電ス

順位四四七 本地點ハコブキリ澤下流峽谿ニ高約七〇尺ノ堰堤ヲ築造シ左岸ヨリ取入レ岸上ニ水路ヲ穿テ猿倉澤落合ニ發電所ヲ建設ス水路ハ小許ノ隧道ト大部ノ開渠ヨリ成ル

第二十四章 阿賀野川水系

第一節 概説

順位四四八 本地點ハ字八久和ニテ左岸ヨリ取入レ河岸ニ近ク水路ヲ掘鑿シ字川胡桃平ニ發電所ヲ設置ス水路ハ上流大半ヲ開渠トシ下流殘部ヲ隧道トナス

順位四四九 本地點ハ前地點ノ下流左岸ニ取入レ水路全長約三、二〇〇間ナリ全部隧道ヲ以テ導水シ梵字川落合ニ至リテ發電ス

順位四五〇 本地點ハ八久和川ト梵字川トノ合流點ノ下流ニ取入口ヲ設ケ字東山ニ發電所ヲ設ケ水路ハ左岸ヲ選ヒ大部分ヲ隧道トシ開渠ハ約三六〇間ニ過キス

順位四五一 本地點ハ前地點ノ下流左岸ニ取入レ既設發電所ノ取入口上流ニテ發電ス水路ハ全部隧道トス

順位四五二 本地點ハ字三栗屋ノ右岸ニ取入口ヲ設ケ

本水系ハ福島縣ノ西部ナル耶麻郡、南會津郡、北會津郡、大沼郡、河沼郡等所謂會津ト稱スル地方及岩瀨安積兩郡ノ一部並新潟縣ノ北部ニ屬スル東蒲原郡ノ全部ト北蒲原郡ノ大部及北魚沼郡ノ一小部ニ跨リ其ノ面積五二〇方里餘アリ源ヲ流域ノ東北隅ナル脊梁山脈中ノ吾妻群山ニ發シ同山麓ナル檜原、小野川及秋元等其ノ他ノ諸沼湖ヲ經テ猪苗代湖ニ流入ス小野川湖ヨリ下流猪苗代湖マテノ部分ヲ長瀬川ト稱シ猪苗代湖ヨリ以西ノ下流部ヲ日橋川ト云フ日橋川ハ西流シテ鹽川ノ西方ニ於テ本水系ノ二大支流ノ一ナル大川ヲ左岸ニ合セ宮川、濁川、一ノ戸川等ノ小支流ヲ集メ山都ヲ過キ流域ノ西南隅群馬縣界ニ連互スル帝釋山、燧線、至佛嶽ヨリ流下シ來ル他ノ大支流只見川ヲ左岸ニ容ル、是ヨリ下流ハ阿賀野川ト稱シ實川、新谷川、飯豐川等ヲ右岸ニ常浪川、早出川等ノ小支流ヲ左岸ニ集メ新潟市ノ北方ニ